

三浦半島南西部沿岸の魚類－IX

工藤 孝浩・山田 和彦・瀬能 宏

Takahiro Kudo, Kazuhiko Yamada and Hiroshi Senou:
Fish fauna of the southwest coast of Miura Peninsula- IX

Abstract. We have studied fish fauna of the southwestern coast of the Miura Peninsula since 1988. Previous to this current study, 484 species of fishes were recorded. Sixty two species are newly added in the present study undertaken from September 2012 to August 2018. *Oncorhynchus kisutch*, *Lampanyctus alatus*, *Pseudamia gelatinosa*, *Scorpaenodes varipinnis*, *Scorpaenopsis venosa*, *Stegaster fasciolatus*, *Kochichthys flavofasciatus*, *Acanthurus leucopareius*, *Acanthurus maculiceps*, and *Acanthurus nigricauda* are the first record on the basis of specimens from Sagami Bay.

はじめに

相模湾は、本州中部南岸の伊豆半島石廊崎と房総半島洲崎を結んだ線以北のうち、観音崎－富津岬以北の東京湾を除く海域と定義される（瀬能・松浦，2007）。筆者らは相模湾の魚類相を明らかにすることを目的として、1988年から城ヶ島を中心とした三浦半島南西部沿岸で調査を続け、前報までに484種を報告した（工藤ほか，2013）。今回はその後新たに発見されて標本を収集することができた62種を追加報告する。また、工藤・岡部（1991）で標本未収集としたもののうち1種の標本が得られたので、併せて報告する。

調査方法

2012年9月から2018年8月までの6年間に、図1の黒丸で示した調査地点で魚類の採集調査を行った。調査方法はスキンドайビングによる手網採集と城ヶ島沿岸域における刺網などの漁獲物（船名が明らかな場合はそれを記述）の調査を主体に、釣り人の釣獲物からサンプルを得た。また、放流されたトラフグ人工種苗の再捕を目的に神奈川県水産技術センターが2人1組で徒歩により曳網したサーフネット（長さ15 m、高さ1.2 m、目合8 mmで袋網なし）の採集物からもサンプルを得た。原則として水深10 m以浅に出現した魚類を調査対象としたが、一部には100 mまでの水深から得た漁獲・釣獲物を含めた。

標本は生鮮時にカラー写真で撮影後、横須賀市自然博

物館魚類資料（YCM-P）と神奈川県立生命の星・地球博物館魚類資料（KPM-NI）に登録保管した。種の同定と分類学的配列は中坊編（2013）に準拠した。

目録で使用した種の番号（485～）は、前報（工藤ほか，2013）最後の番号から追録した。本報告の標本に関する記述は、登録した機関の標本番号、丸括弧内に標準体長（SL）または全長（TL）（複数個体の場合は個体数とその範囲）、採集年月日、採集地、採集方法、採集者および図版番号の順に記した。各種の相模湾での分布記録は、Senou *et al.* (2006) を参考にした。

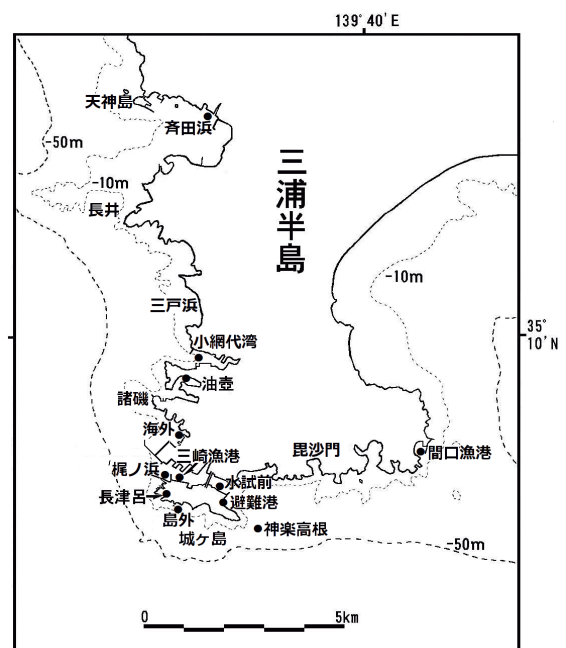


図1. 調査地点。

調査結果

本調査により、新たに 62 種の魚類が発見・採集され、三浦半島南西部での出現記録は合計で 546 種となった。また、前報までに記録された後に分類学的再検討がなされた 1 種と、工藤・岡部 (1991) で標本未収集のまま目視観察をもとに報告したもの 1 種の標本が得られたので、既報の種の学名の確定・訂正と併せて目録末尾に補足として報告する。

485. ニホンヤモリザメ *Galeus nipponensis*

YCM-P 45522 (580.7 mm TL), Mar. 11, 2014, 城ヶ島沿岸, 刺網, 山田 (図 2-A)

相模湾では、三崎周辺の定置網 (山田, 1990), 館山湾 (萩原・木村, 2005) などからの記録がある。

486. タカマユウツボ *Anarchias seychellensis*

YCM-P 44640 (2, 155.5–297.0 mm TL), Aug. 26, 2014, 水試前, スキンダイビング, 工藤 (図 2-B)

相模湾では、伊豆海洋公園 (KPM-NR (神奈川県立生命の星・地球博物館魚類写真資料データベース)

97866) で生態写真が撮影されている。標本個体は、波当たりが弱い岩礁域にある水深 3 m の岩棚の奥から採集された。

487. トラウツボ *Enchelycore pardalis*

YCM-P 45599 (57.6 mm TL), Sep. 9, 2013, 長津呂, スキンダイビング, 山田 (図 2-C)

相模湾では、熱海 (KPM-NR 11736 ほか), 富戸 (KPM-NR 17201 ほか), 伊豆海洋公園 (KPM-NR 34038) で生態写真が撮影されている。標本個体は、波当たりが強い岩礁域にある水深 3 m の岩の間に溜った礫中から得られた。

488. ウグイ *Tribolodon hakonensis*

YCM-P 46292 (72.8 mm TL 9, Aug. 18, 2017, 油壺, 手網, 山田 (図 2-D)

相模湾では、小田原漁港と隣接する押切海岸から記録がある (Senou *et. al.*, 2006)。神奈川県中西部の大河川や湖沼には普通にみられるが三浦半島河川からの記録はない (勝呂・瀬能, 2006)。標本個体は、カキが付着した岩礁域の海面を漂っていた。

489. ギンザケ *Oncorhynchus kisutch*

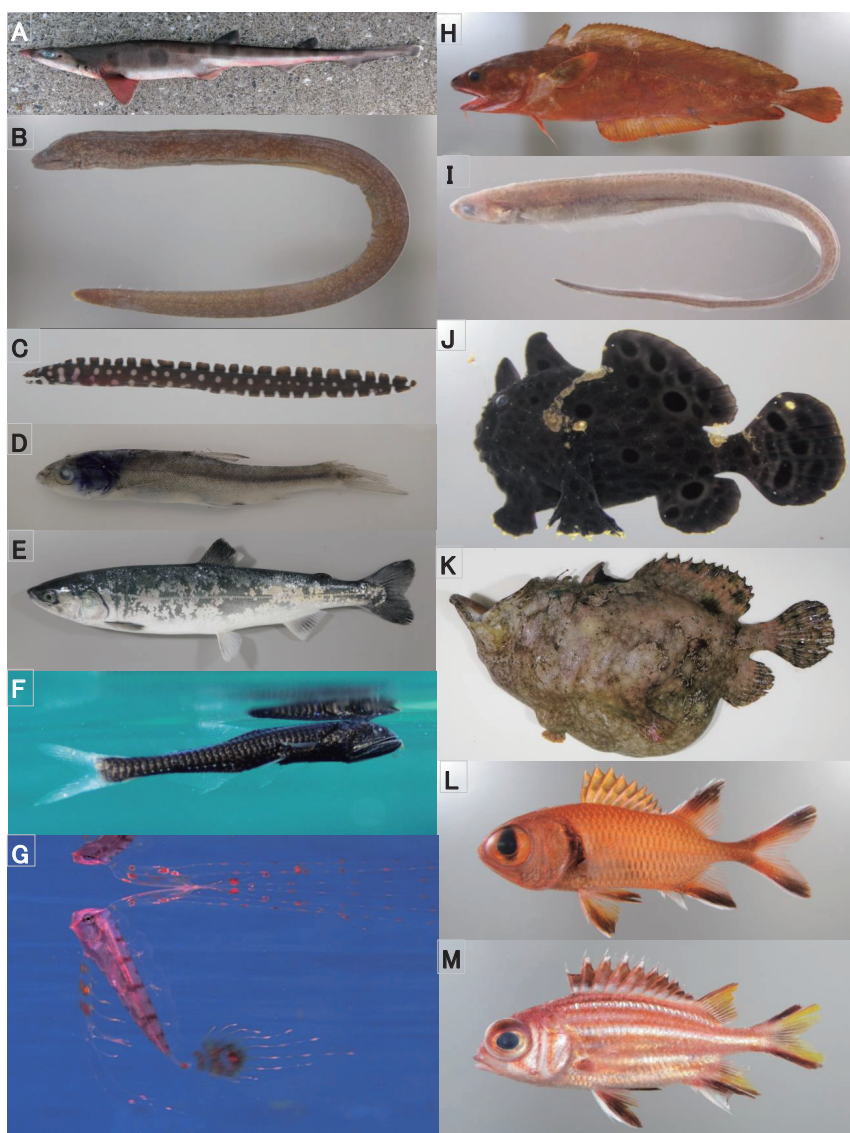


図 2. A, ニホンヤモリザメ *Galeus nipponensis*, YCM-P45522 ; B, タカマユウツボ *Anarchias seychellensis*, YCM-P44640 ; C, トラウツボ *Enchelycore pardalis*, YCM-P45599 ; D, ウグイ *Tribolodon hakonensis*, YCM-P46292 ; E, ギンザケ *Oncorhynchus kisutch*, YCM-P 46229 ; F, トミハダカ *Lampanyctus alatus*, YCM-P 46370 ; G, ユキフリソデウオ *Zu cristatus*, YCM-P 46369 ; H: イソアイナメ *Lotella phycis*, YCM-P 45520 ; I, カクレウオ *Encheliophis sagamianus*, YCM-P 44951 ; J, イロカエルアンコウ *Antennarius pictus*, YCM-P46280 ; K, ソウシカエルアンコウ *Antennarius scriptissimus*, YCM-P 46235 ; L, ナミマツカサ *Myripristis kochiensis*, YCM-P 456178 ; M, アヤメエビス *Sargocentron rubrum*, YCM-P 45571.

YCM-P 46229 (264.6 mm TL), Jan. 19, 2015, 間口漁港, 釣り, 一般の釣り人; YCM-P 46230 (242.4 mm TL), Jan. 26, 2015, 避難港, 釣り, 一般の釣り人 (図 2-E)

相模湾初記録だが, 浦賀水道に臨む千葉県勝山では 2013 年から本種の海面養殖が行われており (川端, 2015), 両標本個体は尾鰭にスレがみられたことから当該施設から逸出した個体である可能性がある。

490. トミハダカ *Lampanyctus alatus*

YCM-P 46370 (4, 16.6–20.3 mm SL), Jan. 25, 2017, 長津呂, スキンダイビング, 山田 (図 2-F)

標本個体は, 491. ユキフリソデウオとともに岩礁に囲まれた小湾奥の表層から生態写真撮影後に採集された。当日は黒潮系暖水が沿岸に波及して水温が上昇し, 透視度も極めて高かった。相模湾初記録となる。

491. ユキフリソデウオ *Zu cristatus*

YCM-P 46369 (32.7 mm SL), Jan. 25, 2017, 城ヶ島長津呂, スキンダイビング, 山田 (図 2-G)

相模湾では, Jordan & Snyder (1901) が *Trachypterus ijimae* として記録しているほか Tanaka (1915) が記録しているが, 近年の記録はない。標本個体は, 490. トミハダカとともに採集された。

492. イソアイナメ *Lotella phycis*

YCM-P 45520 (231.8 mm SL), Oct. 9, 2013, 城ヶ島沿岸, 刺網 (政漁丸), 山田 (図 2-H)

相模湾では, Jordan & Thompson (1914) が記録しており, 近年では三崎周辺の刺網で漁獲された記録がある (山田, 1990)。

493. カクレウオ *Encheliophis sagamiensis*

YCM-P 44951 (73.3 mm TL), Aug. 18, 2010, 城ヶ島沿岸, 視突き漁業, 高橋正浩 (図 2-I)

本種は, Tanaka (1908) により相模湾産の標本に基づいて *Carapus sagamiensis* として新種記載された。標本個体は, 城ヶ島地先で漁獲・販売されたアカナマコの肛門から出てきた。

494. イロカエルアンコウ *Antennarius pictus*

YCM-P 46280 (30.8 mm SL), Nov. 2, 2014, 油壺, スキンダイビング, 山田 (図 2-J)

相模湾では, 伊豆海洋公園 (横田, 1991), 館山湾 (萩原・木村, 2005) から記録がある。標本個体は, 水深 3 m に浮かぶポンツーンの下に溜ったカキ殻の中から採集された。

495. ソウシカエルアンコウ *Antennarius scriptissimus*

YCM-P 46235 (369.5 mm SL), Feb. 7, 2015, 城ヶ島沿岸, 刺網, 山田 (図 2-K)

相模湾では, 伊豆海洋公園 (横田・瀬能, 1991), 三崎魚市場 (山田・工藤, 1998) からの記録がある。

496. ナミマツカサ *Myripristis kochiensis*

YCM-P 456178 (3, 32.1–64.6 mm SL), Oct. 12, 2013, 小網代湾, スキンダイビング, 工藤 (図 2-L)

相模湾では, 伊豆海洋公園 (瀬能・織田, 1998), 藤沢の定置網 (山田・工藤, 1999) からの記録がある。

標本個体は, 夜間潜水により水深 3 m の護岸の隙間から採集された。

497. アヤメエビス *Sargocentron rubrum*

YCM-P 45571 (39.5 mm SL), Dec. 6, 2012, 海外, 手網, 岡部 久 (図 2-M)

相模湾では, 下田 (林ほか, 1992) から記録がある。標本個体は, 夜間に水深約 2 m の岸壁の隙間を出入りしていた。

498. ナンヨウボラ *Moolgarda perusii*

KPM-NI 35349 (71.4 mm SL), Aug. 30, 2013, 斉田浜, サーフネット, 工藤 (図 3-A)

相模湾では, 小田原市早川漁港 (KPM-NI 13376) や下田 (KPM-NI 39518) から標本が得られている。

499. セボシイソカサゴ *Scorpaenodes varipinnis*

YCM-P 46359 (19.9 mm SL), Nov. 4, 2016, 長津呂, スキンダイビング, 山田 (図 3-B)

標本個体は, 水深 1 m の岩穴の中から採集された。相模湾初記録となる。

500. オニカサゴ *Scorpaenopsis cirrosa*

YCM-P 46273 (84.6 mm SL), Aug. 25, 2014, 水試前, スキンダイビング, 工藤 (図 3-C)

相模湾では, 三崎周辺の刺網 (山田, 1990), 葉山芝崎 (萩原・長谷川, 1990), 熱海 (瀬能ほか, 1998) などの記録がある。標本個体は波当たりが弱い岩礁域の水深 3 m で採集された。

501. ヒュウガカサゴ *Scorpaenopsis venosa*

YCM-P 46308 (40.7 mm SL), Nov. 22, 2015, 長津呂, スキンダイビング, 山田 (図 3-D)

標本個体は波当たりが強い岩礁域の水深 3 m の岩棚から採集された。伊豆海洋公園で標本 (KMP-NI 40221) が得られており, これらは相模湾初記録となる。

502. オニオコゼ *Inimicus japonicus*

YCM-P 45516 (170.6 mm SL), Sep. 8, 2013, 城ヶ島沿岸, 刺網, 山田 (図 3-E)

相模湾では, 西湖の定置網 (林・西山, 1980), 三崎周辺の刺網 (山田, 1990), 横須賀市芦名 (林ほか, 2000) などの記録がある。

503. ワニゴチ *Inegochi ochiaii*

YCM-P 46215 (407.7 mm SL), May 22, 2014, 城ヶ島沿岸, 刺網, 山田 (図 3-F)

相模湾では, 三崎周辺の刺網 (山田, 1990), 熱海 (瀬能ほか, 1998), 館山湾 (萩原・木村, 2005) などの記録がある。

504. ルリハタ *Aulacocephalus temminckii*

YCM-P 46241 (219.8 mm SL), Spr. 29, 2016, 城ヶ島沿岸, 刺網, 山田 (図 3-G)

相模湾では, 横須賀市天神島 (林・伊藤, 1974), 三浦市諸磯沖釣り (山田・工藤, 1992), 熱海 (瀬能ほか, 1998) などの記録がある。

505. オオモンハタ *Epinephelus areolatus*

YCM-P 46386 (79.9 mm SL), May 19, 2017, 城ヶ

島北西岸壁、釣り、一般の釣り人 (図 3-H)

相模湾では、熱海 (瀬能ほか, 1998), 横須賀市芦名 (林ほか, 2000), 三浦市毘沙門の定置網 (山田・工藤, 2001) などの記録がある。標本個体は、岸壁基部の水深 6 m の捨石周りで釣獲された。本種は 2015 ~ 2017 年の城ヶ島周辺と小網代湾の水深 3 ~ 10 m での潜水調査で頻繁に目視された。

506. カケハシハタ *Epinephelus radiatus*

YCM-P 46309 (50.5 mm SL), Nov. 22. 2015, 梶ノ浜, スキンダイビング, 工藤 (図 3-I); YCM-P 46381 (146.7 mm SL), Nov. 29. 2017, 諸磯沖水深 70 m, 釣り, 篠原 元

本種は, Franz(1910)により相模湾産標本に基づき *E. doederleinii* として新種記載されたが, 2015 年 1 月に三崎魚市場に水揚げ (YCP-P46240, 三浦市金田湾で釣獲) されるまで記録はなかった。YCM-P 46309 は水深 10 m の転石下から採集された幼魚, YCM-P 46381 は水深 70 m の根が点在する砂泥底からイズカサゴやアカアマダイなどと釣獲された未成魚である。

507. ホカケハナダイ *Rabaulichthys suzukii*

YCM-P 45607 (25.4 mm SL), Sep. 30, 2013, 水試前, スキンダイビング, 工藤 (図 3-J)

本種は, Masuda & Randall (2001) により伊豆半島の大瀬崎 (駿河湾) と伊豆海洋公園 (相模湾) 産の標本に基づき新種記載された。標本個体は, 水深 3 m の岸壁湾入部の隅に群がる同サイズのネンブツダイ幼魚の中に混泳していた。伊豆半島沿岸の限られた海域のみから知られ, 伊豆半島外からは初記録となる。

508. アゴアマダイ *Opistognathus hopkinsi*

YCM-P 46320 (84.9 mm SL), Jan. 11. 2015, 城ヶ島西沖, 釣り, 篠原 元 (図 3-K)

本種は, Jordan & Snyder (1902) によって相模湾産標本に基づき *Gnathypops hopkinsi* として新種記載され, 近年では伊豆半島東岸の城ヶ崎海岸水深 52 m (KPM-NR 70206)・初島沖水深 60 m (KPM-NR 86790) などで記録がある。標本個体は, 水深 60 ~ 71 m の砂泥底からマアジやマダイとともに釣獲された。

509. アオスジテンジクダイ *Apogon aureus*

YCM-P 46315 (2, 20.2–21.0 mm SL), Sep. 23,

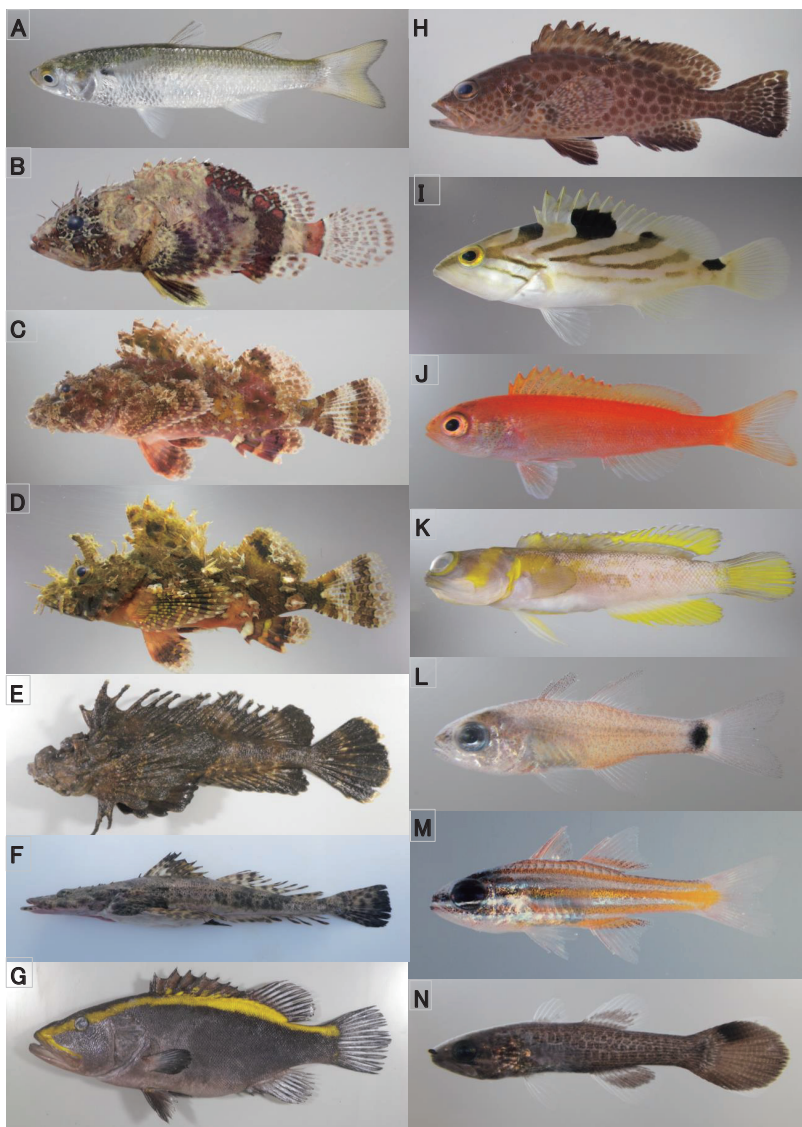


図 3. A, ナンヨウボラ *Moolgarda perusii*, KPM-NI 35349; B, セボシイソカサゴ *Scorpaenodes varipinnis*, YCM-P 46359; C, オニカサゴ *Scorpaenopsis cirrosa*, YCM-P 46273; D, ヒュウガカサゴ *Scorpaenopsis venosa*, YCM-P 46308; E, オニオコゼ *Inimicus japonicus*, YCM-P 45516; F, ワニゴチ *Inegochi ochiaii*, YCM-P 46215; G, ルリハタ *Aulacocephalus temminckii*, YCM-P 46241; H, オオモンハタ *Epinephelus areolatus*, YCM-P 46386; I, カケハシハタ *Epinephelus radiatus*, YCM-P 46309; J, ホカケハナダイ *Rabaulichthys suzukii*, YCM-P 45607; K, アゴアマダイ *Opistognathus hopkinsi*, YCM-P 46320; L, アオスジテンジクダイ *Apogon aureus*, YCM-P 46315; M, キンセンイシモチ *Apogon properuptus*, YCM-P 25528; N, ヌメリテンジクダイ *Pseudamia gelatinosa*, YCM-P 45556.

2015, 梶ノ浜, スキンダイビング, 工藤 (図 3-L)
相模湾では, 伊豆海洋公園で標本 (KMP-NI 33476)
や生態写真 (KMP-NR 62863 など) が得られている。
標本個体は, 水深 3 m の岩棚に群れる同サイズのネン
ブツダイ幼魚と混泳していた。

510. キンセンイシモチ *Apogon properuptus*

YCM-P 25528 (27.6 mm SL), Sep. 6, 2012, 梶ノ
浜, スキンダイビング, 工藤 (図 3-M)

相模湾では, 熱海 (瀬能ほか, 1998), 三浦市諸磯の
定置網 (山田・工藤, 1999), 横須賀市芦名 (林ほか,
2000) などの記録がある。調査海域では稀ではないが,
既報告から漏れていた。

511. ヌメリテンジクダイ *Pseudamia gelatinosa*

YCM-P 45556 (29.1 mm SL), Oct. 18, 2012, 水試
前, スキンダイビング, 工藤 (図 3-N)

標本個体は, 波当たりが弱い水深 3 m の岩盤の亀裂
から採集された。相模湾初記録となる。

512. ロウニンアジ *Caranx ignobilis*

YCM-P 46265 (36.5 mm SL), July 15, 2014, 斉
田浜, 投網, 工藤; YCM-P 46348 (31.8 mm SL),

Sep. 4, 2016, 油壺, 手網, 日高芳子 (写真 4-A)

相模湾では, 西湘地区 (林・西山, 1980) や三浦市諸磯 (山
田・工藤, 1993) の定置網などの記録がある。

513. ゴマフエダイ *Lutjanus argentimaculatus*

YCM-P 46293 (51.4 mm SL), Sep. 29, 2015, 油壺,
スキンダイビング, 山田 (写真 4-B)

相模湾では, 大磯港 (山川・瀬能, 2016) と相模湾
流入河川の感潮域からの記録がある (林・石原, 1986
など)。

514. ウメイロ *Paracaesio xanthura*

YCM-P 45540 (3, 141.1–153.5 mm SL), Sep. 16,
2012, 神楽高根, 釣り, 篠原 元 (図 4-C)

相模湾では, 熱海 (瀬能ほか, 1998), 毘沙門の定置
網 (山田・工藤, 2001) から記録がある。標本個体は,
水深 27 ~ 32 m の岩礁の急斜面からマアジやメジナと
ともに釣獲された。

515. オオヒメ *Pristipomoides filamentosus*

YCM-P 44995 (119.4 mm SL), Oct. 5, 2011, 三
戸浜沖, 釣り, 小菅裕二 (図 4-D)

相模湾では, 藤沢の定置網 (山田・工藤, 2000) か



図 4. A, ロウニンアジ *Caranx ignobilis*, YCM-P 46265; B, ゴマフエダイ *Lutjanus argentimaculatus*, YCM-P 46293; C, ウメイロ *Paracaesio xanthura*, YCM-P 45540; D, オオヒメ *Pristipomoides filamentosus*, YCM-P 44995; E, ササムロ *Caesio caerulea*, YCM-P 46316; F, マルクチヒメジ *Parupeneus cyclostomus*, YCM-P 46298; G, スダレチョウチョウウオ *Chaetodon ulietensis*, YCM-P 45532; H, ムレハタタダイ *Heniochus diphreutes*, YCM-P 46350; I, ソメワケヤッコ *Centropyge bicolor*, YCM-P 46350; J, オキゴンベ *Cirrhitichthys aureus*, YCM-P 46356; K, ウイゴンベ *Cyprinocirrhies polyactis*, YCM-P 46317.

らの記録がある。標本個体は、水深 20 m の岩礁・転石域からカワハギとともに釣獲された。

516. ササムロ *Caesio caerulea*

YCM-P 46316 (29.2 mm SL), Sep. 25. 2015, 小網代湾, スキンダイビング, 工藤 (図 4-E)

相模湾では、下田 (林ほか, 1992) と毘沙門の定置網 (山田・工藤, 2014) からの記録がある。標本個体は、岸壁際の水深 5 m で同サイズのネンプツダイとクロホシイシモチの群れの中にいた。

517. マルクチヒメジ *Parupeneus cyclostomus*

YCM-P 46298 (52.3 mm SL), Oct. 15. 2015, 長津呂, スキンダイビング, 山田 (図 4-F)

相模湾では、伊豆海洋公園と富戸 (Senou *et al.*, 2006) から記録がある。2015 年 9 月 25 日には小網代湾水深 5 m の消波ブロック帯で全長約 15 cm の個体が潜水観察された。

518. スダレチョウウオ *Chaetodon ulietensis*

YCM-P 45532 (35.8 mm SL), Sep. 12. 2012, 油壺, スキンダイビング, 工藤 (図 4-G)

相模湾では、下田 (檜山・安田, 1971) からの記録がある。

519. ムレハタテダイ *Heniochus diphreutes*

YCM-P 46350 (32.0 mm SL), Sep. 17. 2016, 小網代湾, スキンダイビング, 工藤 (図 4-H)

相模湾では、葉山芝崎 (1990), 横須賀市天神島 (林, 1995), 下田 (林ほか, 1992) などの記録がある。

520. ソメワケヤッコ *Centropyge bicolor*

YCM-P 46314 (26.6 mm SL), Sep. 23. 2015, 梶ノ浜, スキンダイビング, 工藤 (図 4-I)

中坊編 (2013) による本種の分布域に相模湾は含まれていないが、益田・小林 (1994) に伊豆海洋公園産幼魚の水槽写真があり、その標本 (KPM-NI 34571) と標本写真 (KPM-NR 115399, 115400) が登録されている。標本個体は、岩礁帯に挟まれた水深 5 m の砂礫帯から採集された。

521. オキゴンベ *Cirrhithichthys aureus*

YCM-P 46356 (89.9 mm SL), Nov. 20. 2016, 梶ノ浜, スキンダイビング, 工藤 (図 4-J)

相模湾では、西湘地区の定置網 (林・西山, 1980), 熱海 (瀬能ほか, 1998), 館山湾 (萩原・木村, 2005) などの記録がある。

522. ウイゴンベ *Cyprinocirrhies polyactis*

YCM-P 46317 (89.9 mm SL), Nov. 20. 2016, 梶ノ浜, スキンダイビング, 工藤 (図 4-K)

相模湾では、伊豆大島 (グローバル・スポーツ・クラブ, 1991), 熱海 (瀬能ほか, 1998) の記録がある。

523. クマノミ *Amphiprion clarkii*

YCM-P 46354 (32.3 mm SL), Sep. 17. 2016, 小網代湾, スキンダイビング, 工藤 (図 5-A)

相模湾では、横須賀市天神島 (林, 1982), 熱海 (瀬能ほか, 1998), 館山湾 (萩原・木村, 2005) などの

記録がある。

524. コガネスズメダイ *Chromis albicauda*

YCM-P 46310 (15.8 mm SL), Nov. 22. 2015, 梶ノ浜, スキンダイビング, 工藤 (図 5-B)

相模湾では、熱海 (瀬能ほか, 1998), 下田 (林ほか, 1992), 毘沙門の定置網 (山田・工藤, 2001) などの記録がある。

525. シコクスズメダイ *Chromis margaritifer*

YCM-P 45526 (18.3 mm SL), Sep. 3. 2012, 長津呂, スキンダイビング, 工藤 ; YCM-P 45595 (25.5 mm SL), Aug. 28. 2013, 水試前, スキンダイビング, 工藤 ; YCM-P 46330 (21.0 mm SL), Sep. 19. 2015, 水試前, スキンダイビング, 工藤 (図 5-C)

相模湾では、熱海 (瀬能ほか, 1998) と館山湾 (萩原・木村, 2005) の記録がある。

526. タカサゴスズメダイ *Chromis weberi*

YCM-P 46331 (14.5 mm SL), Sep. 19. 2015, 梶ノ浜, スキンダイビング, 工藤 (図 5-D)

相模湾では、伊豆海洋公園 (KPM-NR 63070, 168872 など) で生態写真が撮影されている。標本個体は、水深 4 m の岩礁に群がるスズメダイ幼魚の中に混泳していた。加藤 (2011) の幼魚の写真と一致し、体高が低く尾鰭上下葉に黒色線があることなどから本種と同定された。

527. フチドリスズメダイ *Stegaster fasciolatus*

YCM-P 45613 (14.8 mm SL), Oct. 14. 2013, 油壺, スキンダイビング, 山田 (図 5-E)

標本個体は、カキが付着した水深 2 m の岩盤の亀裂から採集された。伊豆半島東岸の竜宮島で生態写真が撮影されており (KPM-NR 84075), これらは相模湾初記録となる。

528. ケギベラ *Gomphosus varius*

YCM-P 45562 (38.3 mm SL), Nov. 1. 2012, 城ヶ島長津呂, スキンダイビング, 工藤 (図 5-F)

相模湾では、伊豆大島と富戸 (Senou *et al.*, 2006) からの記録がある。標本個体は、カミナリベラなどとともに水深 2 m 以浅の岩盤上を遊泳していた。本種は、2015 年 9 月 25 日に小網代湾, 同年同月 29 日に島外でも潜水観察された。

529. ムナテンベラ *Halichoeres melanochir*

YCM-P 45566 (36.9 mm SL), Nov. 16. 2012, 長井沖西カラス根, スキンダイビング, 工藤 (図 5-G)

相模湾では、下田 (林ほか, 1992), 館山湾 (萩原・木村, 2005) の記録がある。

530. ヤンセンニシキベラ *Thalassoma janssenii*

YCM-P 45557 (29.6 mm SL), Oct. 26. 2012, 長津呂, スキンダイビング, 山田 (図 5-H) ; YCM-P 45622 (45.4 mm SL), Nov. 14. 2013, 長津呂, スキンダイビング, 工藤 (図 5-I)

相模湾では、伊豆海洋公園 (KPM-NI 34623) で標本が得られている。両標本個体は、波当たりがやや強い

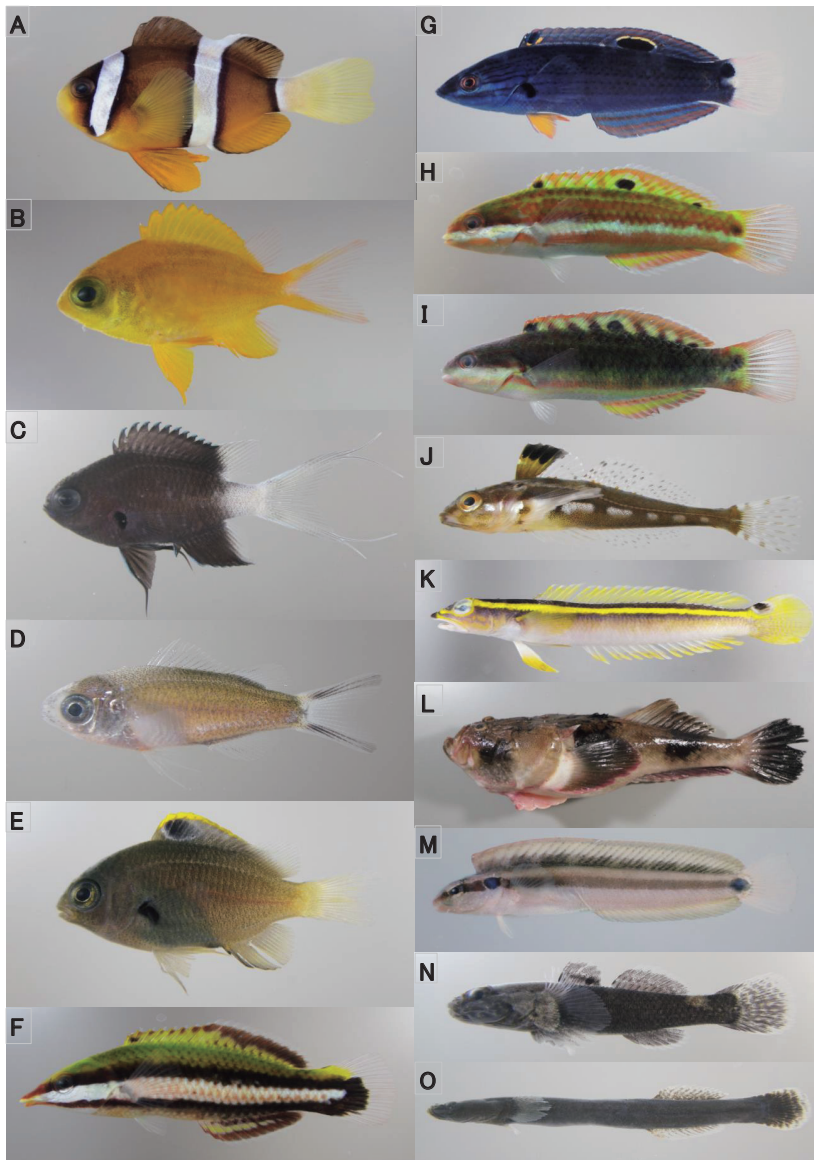


図 5. A, クマノミ *Amphiprion clarkii*, YCM-P 46354; B, コガネスズメダイ *Chromis albicauda*, YCM-P 46310; C, シコクスズメダイ *Chromis margaritifer*, YCM-P 45526; D, タカサゴスズメダイ *Chromis weberi*, YCM-P 46331; E, フチドリズメダイ *Stegaster fasciolatus*, YCM-P 45613; F, クギベラ *Gomphosus varius*, YCM-P 45562; G, ムナテンペラ *Halichoeres melanochir*, YCM-P 45566; H, ヤンセンニシキベラ *Thalassoma janssenii*, YCM-P 45557; I, ヤンセンニシキベラ *Thalassoma janssenii*, YCM-P 45622; J, ヤナギアナハゼ *Pseudoblennius argenteus*, YCM-P 46257; K, キスジトラギス *Kochichthys flavofasciatus*, YCM-P 45064; L, メガネウオ *Uranoscopus bicinctus*, YCM-P 45342; M, フタホシニジギンポ *Petroscirtes springeri*, YCM-P 45567; N, ヤハズハゼ *Bathygobius cyclopterus*, YCM-P 45542; O, イソミミズハゼ *Lucinogobius* sp.6, YCM-P 46288.

水深 1 m 前後の岩盤上の特定の亀裂から離れることなく遊泳していた。体長 30 mm 前後では同地点で時おり観察されるキヌベラ幼魚に酷似するが、本種がメタリックに輝いて見えた。45 mm になると体側上半部が黒ずんで成長に伴う体色変化がみられた。

531. ヤナギアナハゼ *Pseudoblennius argenteus*

YCM-P 46257 (2, 34.8–35.1 mm SL), Apr. 28. 2014, 城ヶ島水試前, スキンダイビング, 工藤 (図 5-J)

相模湾では, 下田 (林ほか, 1992), 三戸の定置網 (山田・工藤, 1997) からの記録がある。

532. キスジトラギス *Kochichthys flavofasciatus*

YCM-P 45064 (147.5 mm SL), Mar. 10. 2012, 城ヶ島東沖, 刺網 (政漁丸), 山田 (図 5-K)

標本個体は, 水深約 90 m の砂地からヒラメ刺網により漁獲された。中坊編 (2013) に記載の本種の分布域「神奈川県城ヶ島」は, 相模湾初記録となる本標本に基づく。

533. メガネウオ *Uranoscopus bicinctus*

YCM-P 45342 (201.2 mm SL), Mar. 7. 2013, 城ヶ

島沖, 刺網, 山田 (図 5-L)

相模湾では, 西湘地区の定置網 (林・西山, 1980) からの記録がある。

534. フタホシニジギンポ *Petroscirtes springeri*

YCM-P 45567 (44.2 mm SL), Nov. 16. 2012, 長井沖エイノ根, スキンダイビング, 工藤 (図 5-M)

相模湾では, 熱海 (瀬能, 1998), 葉山・芝崎 (萩原・長谷川, 1999), 館山湾 (2005) などの記録がある。

535. ヤハズハゼ *Bathygobius cyclopterus*

YCM-P 45542 (44.2 mm SL), Sep. 26. 2012, 長津呂, スキンダイビング, 工藤 (図 5-N)

相模湾では, 館山湾 (萩原・木村, 2005) の記録がある。

536. イソミミズハゼ *Lucinogobius* sp.6

YCM-P 46288 (31.1 mm SL), July 29. 2014, 水試前, 手網, 工藤 (図 5-O)

工藤・岡部 (1991) の 242. ミミズハゼの記録は標本に基づくものではなかった。中坊編 (2013) はこれまでミミズハゼとされていたものを複数種に分けており, ここに改めて調査海域沿岸で最も普通にみられる本種の

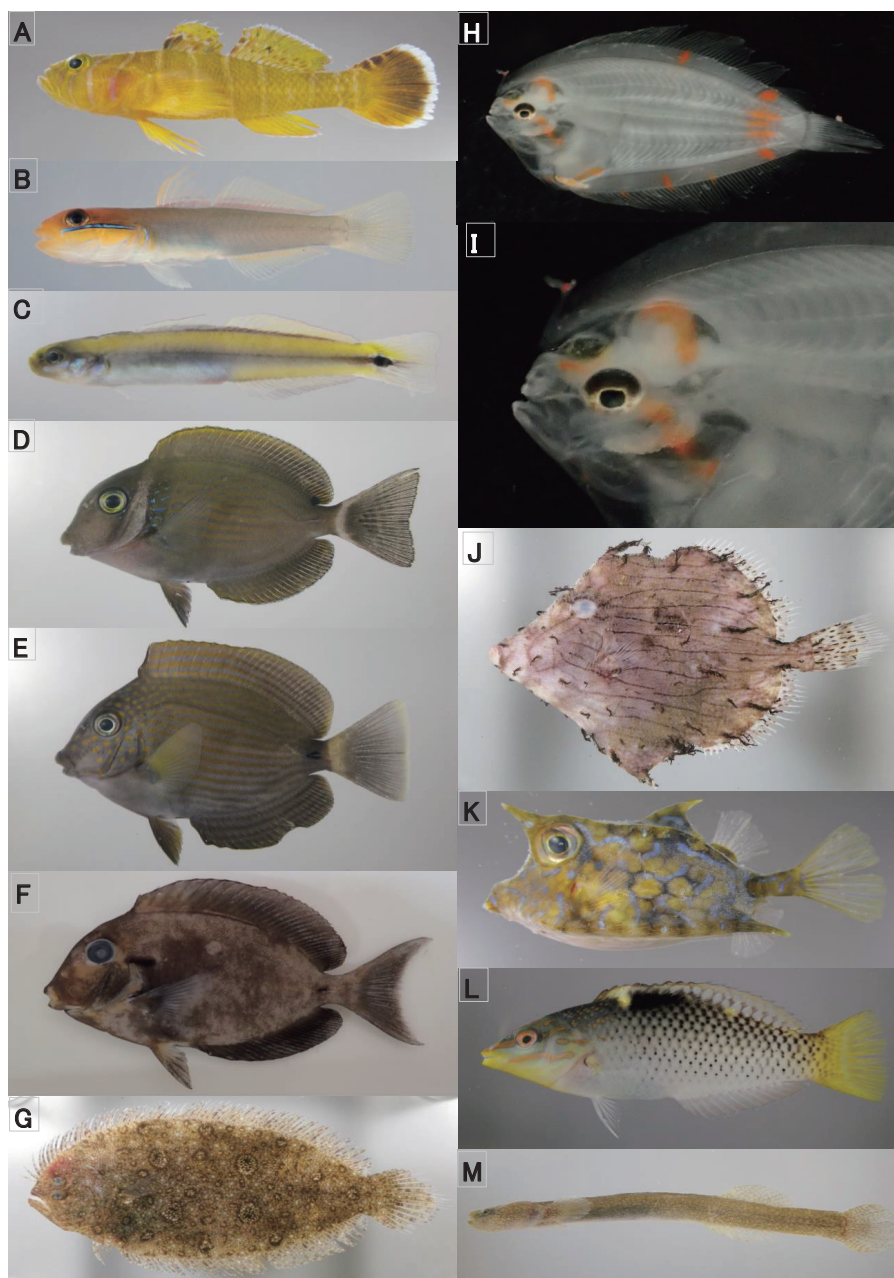


図 6. A, コクテンベンケイハゼ *Priolepis akihitoi*, YCM-P 46313; B, アカハチハゼ *Valenciennea strigata*, YCM-P 45602; C, ベニツケサツキハゼ *Parioglossus philippinus*, YCM-P 45600; D, スジクロハギ *Acanthurus leucopareius*, YCM-P 46324; E, イレズミニザ *Acanthurus maculiceps*, YCM-P 46325; F, クロモンツキ *Acanthurus nigricauda*, YCM-P 46368; G, ヘラガンゾウビラメ *Pseudorhombus oculocirris*, YCM-P 46226; H, ダルマガイレイ科の 1 種 *Bothidae* gen. sp., YCM-P 46360; I, ダルマガイレイ科の 1 種 (頭部) *Bothidae* gen. sp., YCM-P 46360; J, ヒゲハギ *Chaetodermis penicilligera*, YCM-P 46228; K: シマウミスズメ *Lactoria fornasini*, YCM-P 46312; L, トカラベラ *Halichoeres hortulanus*, YCM-P 46254; M, ミミズハゼ *Luciogobius guttatus*, YCM-P 46256.

標本を指定し、本調査における初記録種として報告する。

537. コクテンベンケイハゼ *Priolepis akihitoi*

YCM-P 46313 (45.6 mm SL), Dec. 6. 2015, 水試前, スキンダイビング, 工藤 (図 6-A)

相模湾では、葉山芝崎 (萩原・長谷川, 1990), 熱海 (瀬能ほか, 1998), 館山湾 (萩原・木村, 2005) などの記録がある。標本個体は、水深 6 m の岩盤の亀裂から採集された。

538. アカハチハゼ *Valenciennea strigata*

YCM-P 45602 (26.4 mm SL), Sep. 18. 2014, 島外, スキンダイビング, 工藤 (図 6-B)

相模湾では、伊豆海洋公園 (横田, 1996), 館山湾 (萩原・木村, 2005) の記録がある。標本個体は、立ち上がった岩盤基部の水深 3 m の砂礫底において約 2 週間にわたって観察された。その間に台風が襲来し海底が大きく攪乱されたが、その通過後も同じ場所にいた。

539. ベニツケサツキハゼ *Parioglossus philippinus*

YCM-P 45600 (31.9 mm SL), Sep. 14. 2013, 海外,

スキndaイビング, 山田和海 (図 6-C)

相模湾では, 小田原漁港内 (鈴木・瀬能, 1991) の記録がある。標本個体は, 水深 1 ~ 2 m の中層に群れるサツキハゼの中に混泳していた。

540. スジクロハギ *Acanthurus leucopareius*

YCM-P 46324 (41.6 mm SL), Sep. 6. 2015, 長津呂, スキンダイビング, 山田 (図 6-D)

標本個体はニセカンランハギや 542. イレズミニザとともに水深 1 ~ 3 m の岩礁帯を広く遊泳していた。2015 年 9 ~ 10 月には, 城ヶ島東部の大きなタイドプール内で 2 個体が潜水観察された。相模湾初記録となる。

541. イレズミニザ *Acanthurus maculiceps*

YCM-P 46325 (45.7 mm SL), Sep. 6. 2015, 長津呂, スキンダイビング, 山田 (図 6-E)

標本個体は 540. スジクロハギとともに採集された。相模湾初記録となる。

542. クロモンツキ *Acanthurus nigricauda*

YCM-P 46368 (採集時約 40 mm, 死亡時 76.3 mm SL), Sep. 3. 2016 (Feb. 25. 2017 死亡), 避難港, スキンダイビング, 岡部 久 (図 6-F)

標本個体は, 水深 1 ~ 3 m の転石帯を広く遊泳しており, 採集時には同定形質の発現が不十分だったため飼育した。相模湾初記録となる。

543. ヘラガンゾウビラメ *Pseudorhombus oculocirris*

YCM-P 46226 (212.1 mm SL), Nov. 21. 2014, 城ヶ島沖, 刺網, 山田 (図 6-G)

相模湾では, 三崎周辺の刺網 (山田・工藤, 2000), Shinohara & Williams (2006) の記録がある。

544. ダルマガレイ科の 1 種 *Bothidae* gen. sp.

YCM-P 46360 (14.8 mm SL), Sep. 23. 2016, 長津呂, 手網, 山田 (図 6-H, I)

標本個体は, 夜間に懐中電灯の光に向かって中層を遊泳してきた浮遊仔魚である。尾舌骨棘があり, 上耳骨棘がなく, 背鰭第 1 軟条が伸長する。黒色素斑を欠き, 生鮮時には朱色素斑が背鰭間棘帯 (2 ケ所), 臀鰭間棘帯 (3 ケ所), 頭部 (3 ケ所), 尾柄部 (3 ケ所), 消化管腹側 (1 ケ所) などにみられ固定後消失した。福井 (2014) に従えばダルマガレイ属かセイテンビラメ属である可能性が高いが, 詳細な検討については別途報告する予定である。

545. ヒゲハギ *Chaetodermis penicilligera*

YCM-P 46228 (142.0 mm SL), Dec. 22. 2014, 城ヶ島沖, 刺網, 山田 (図 6-J)

相模湾では, 小田原市江ノ浦や静岡県赤沢 (Senou *et al.*, 2006) の記録がある。

546. シマウミスズメ *Lactoria fornasini*

YCM-P 46312 (31.2 mm SL), Dec. 6. 2015, 梶ノ浜, スキンダイビング, 工藤 (図 6-K)

相模湾では, 西湘地区の定置網 (林・西山, 1980), 熱海 (瀬能ほか, 1998), 館山湾 (萩原・木村, 2005) などの記録がある。

補 足

186. トカラベラ *Halichoeres hortulanus*

YCM-P 46254 (採集時約 30 mm, 死亡時 77.7 mm SL), Aug. 30, 2012 (Mar. 23, 2014 死亡), 避難港, スキンダイビング, 岡部 久 (図 6-L)

工藤・岡部 (1991) で目視観察に基づき標本未収集のまま報告したが, 標本が得られたため改めて報告する。

242. ミミズハゼ *Luciogobius guttatus*

YCM-P 46256 (64.1 mm SL), Apr. 18, 2014, 小網代湾, 手網, 工藤 (図 6-M)

調査海域では, 淡水の影響を受ける小湾奥部の干潟域に限定的に分布する。

435. バケヌメリ *Eleutherochir mirabilis*

中坊編 (2013) の指摘のとおり, 工藤・山田 (2005) の本種学名に誤りがあったので訂正する。

468. タテガミハゼ *Oxyurichthys microlepis*

工藤・山田 (2011) の 468. サルハゼ属の 1 種は, 宮内庁生物学研究所の研究の結果, 本種と同定された。中坊編 (2013) の分布域「神奈川県横須賀」は本標本に基づく。

謝 辞

横須賀市自然博物館の萩原清司氏には標本の登録・調査でお世話になり, 種々のご教示をいただいた。神奈川県水産技術センターの岡部 久氏には現地調査をはじめ様々なご協力をいただいた。みうら漁業協同組合の出口 浩氏・城ヶ島漁業協同組合の青木 悟氏には現地・水揚げ調査でお世話になった。横須賀市在住の篠原 元氏, 三浦市在住の山田和海氏・日高芳子氏・小菅裕二氏, アジア水中考古学研究所の高橋正浩氏からは標本提供と現地調査でご協力をいただいた。鹿児島大学総合博物館の本村浩之氏にはフサカサゴ科, 神奈川県水産技術センター内水面試験場の勝呂尚之氏にはウグイ属の同定をしていただいた。神奈川県水産技術センターの櫻井 繁氏 (現, 神奈川県水産課)・中尾 満氏・山口利恵氏には, 現地調査や試料整理でご助力をいただいた。宮内庁生物学研究所の池田祐二氏からは有益な情報をいただいた。謹んで感謝の意を表する。

引用文献

- 福井 篤, 2014. ダルマガレイ科. 沖山宗雄編, 日本産稚魚図鑑 第二版, pp. 1418-1420, 東海大学出版会, 秦野.
- Franz, V., 1910. Die Japanischen Knochenfische der Sammlungen Haberer und Doflein. Abh. Akad. Wiss. Munchen Math.-Phys. Kl., 4, Suppl., (1): 1-135, pls. 1-11.
- グローバル・スポーツ・クラブ, 1991. 伊豆大島の海. 伊豆海洋公園通信, 2(4): 7.
- 萩原清司, 1999. フタホシニジギンボ. 潮騒だより, (10): 1, 16.
- 萩原清司・長谷川孝一, 1990. 葉山町柴崎周辺の魚類. 神奈

- 川自然誌資料, (11): 103–110.
- 萩原清司・木村喜芳, 2005. 横須賀市自然・人文博物館所蔵魚類資料目録(Ⅳ)―相模湾海洋生物研究会収集館山湾波佐間産魚類資料目録―. 横須賀市博物館資料集, (29): 1–34.
- 林 弘章・萩原清司・木村喜芳, 2000. 天神島・笠島およびオオツ根周辺の浅海域魚類目録. 相模湾海洋生物研究会編, 芦名周辺サンゴ類生息状況調査報告書, pp. 41–63. 相模湾海洋生物研究会, 横須賀市.
- 林 公義, 1982. 横須賀市佐島天神島・笠島沿岸の魚類(V)―横須賀市佐島地先の沿岸魚類リスト追捕・2―. 横須賀市立博物館館報, 28: 11–13.
- 林 公義, 1995. 天神島自然教育園海域の魚類相. 横浜国立大学環境科学センター紀要, 21(1): 243–258.
- 林 公義・伊藤 孝・岩崎 洋・林 弘章・萩原清司・足立行彦・長谷川孝一・木村喜芳, 1992. 伊豆半島須崎, 田ノ浦湾周辺海域の魚類(追捕). 神奈川自然誌資料, (13): 17–27.
- 林 公義・西山喜徳郎, 1980. 西湘定置網で漁獲された魚類―相模湾魚類目録・I. 神奈川自然誌資料, (1): 15–27.
- 檜山義夫・安田富士郎, 1971. 日本沿岸魚類の生態. Iii+337 pp. 講談社, 東京.
- Jordan, D. S. & J. O. Snyder, 1901. Descriptions of nine new species of fishes contained in museums of Japan. *J. Coll. Sci., Imp. Univ. Tokyo*, 15(2): 301–311, pls. 15–17.
- Jordan, D. S. & J. O. Snyder, 1902. A review of the trachinoid fishes and their supposed allies found in the waters of Japan. *Proc. U. S. Nat. Mus.*, 24(1236): 461–497.
- Jordan, D. S. & W. F. Thompson, 1914. Record of the fishes obtained in Japan in 1911. *Mem. Carnegie Mus.*, 6(4): 205–313, pls. 24–42.
- 加藤昌一, 2011. スズメダイ, ひと目でわかる図解付き. 239 pp. 誠文堂新光社, 東京.
- 川端伸清, 2015. 千葉県初の養殖ギンザケを「江戸前銀鮭」としてブランド化. 中小企業と組合, 2015年6月号: 16–17.
- 工藤孝浩・岡部 久, 1991. 三浦半島南西部沿岸の魚類. 神奈川自然誌資料, (11): 29–38.
- 工藤孝浩・山田和彦, 2005. 三浦半島南西部沿岸の魚類―Ⅵ, 神奈川自然誌資料, (26): 79–84.
- 工藤孝浩・山田和彦, 2011. 三浦半島南西部沿岸の魚類―Ⅶ, 神奈川自然誌資料, (32): 135–141.
- 工藤孝浩・山田和彦・瀬能 宏, 2013. 三浦半島南西部沿岸の魚類―Ⅷ, 神奈川自然誌資料, (34): 135–141.
- 益田 一・小林安雅, 1994. 日本産魚類生態大図鑑. 468 pp. 東海大学出版会, 東京.
- Masuda, H. & J. E. Randall, 2001. Rabaulichthys suzukii, a new anthiine fish from Japan. *Ichthyol. Res.* 48(1): 77–81.
- 中坊徹次編, 2013. 日本産魚類検索 全種の同定 第三版 I, II, III. xlix + 864 pp., xxxii + 865–1747 pp., xvi + 1748–2428 pp., 東海大学出版会, 秦野.
- 瀬能 宏・牧内 元・武谷 洋, 1998. 魚類写真資料データベース(KPM-NR)に登録された水中写真に基づく熱海産魚類目録. 神奈川自然誌資料, (19): 19–28.
- 瀬能 宏・松浦啓一, 2007. 相模湾の魚たちと黒潮. 国立科学博物館編, 相模湾動物誌. pp.121–133, 東海大学出版会, 秦野.
- Senou, H., K. Matsuura & G. Shinohara, 2006. Checklist of fishes in the Sagami sea with zoogeographical comments on shallow water fishes occurring along the coastlines under the influence of the Kuroshio current. *Mem. Nat. Sci. Mus., Tokyo*, (41): 389–542.
- 瀬能 宏・織田玲二, 1998. 今月の魚, ナミマツカサ(幼魚). 伊豆海洋公園通信, 9(3): 1.
- Shinohara, G., & J. T. Williams, 2006. Historical Japanese fish specimens from the Sagami Sea in the National Museum of Natural History, Smithsonian Institution. *Mem. Nat. Sci. Mus., Tokyo*, (41): 543–568.
- 勝呂尚之・瀬能 宏, 2006. 汽水・淡水魚. 高桑正敏・勝山輝男・木場英久編, 神奈川県レッドデータ生物調査報告書 2006 脊椎動物編, pp. 275–298.
- 鈴木寿之・瀬能 宏, 1991. 日本初記録のベニツケサツキハゼ(新称). 伊豆海洋公園通信, 3(1): 4–5.
- Tanaka, S., 1908. Descriptions of eight new species of fishes from Japan. *Annot. Zool. Japan.*, 7(1): 27–47.
- Tanaka, S., 1915. Figures and descriptions of the fishes of Japan including Riukiu Islands, Bonin Islands, Formosa, Kurile Islands, Korea, and Southern Sakhalin. Vol. 20, pp. 343–370, pls. 96–100, Maruzen Co., Tokyo.,
- 山田和彦, 1990. 神奈川県三崎魚市場に水揚げされた魚類. 神奈川自然誌資料, (11): 95–102.
- 山田和彦・工藤孝浩, 1992. 神奈川県三崎魚市場に水揚げされた魚類・Ⅲ. 神奈川自然誌資料, (13): 45–53.
- 山田和彦・工藤孝浩, 1993. 神奈川県三崎魚市場に水揚げされた魚類・Ⅳ. 神奈川自然誌資料, (14): 49–52.
- 山田和彦・工藤孝浩, 1997. 神奈川県三崎魚市場に水揚げされた魚類・Ⅴ. 神奈川自然誌資料, (18): 73–78.
- 山田和彦・工藤孝浩, 1998. 神奈川県三崎魚市場に水揚げされた魚類・Ⅵ. 神奈川自然誌資料, (19): 5–11.
- 山田和彦・工藤孝浩, 1999. 神奈川県三崎魚市場に水揚げされた魚類・Ⅶ. 神奈川自然誌資料, (20): 55–59.
- 山田和彦・工藤孝浩, 2000. 神奈川県三崎魚市場に水揚げされた魚類・Ⅷ. 神奈川自然誌資料, (21): 25–31.
- 山田和彦・工藤孝浩, 2001. 神奈川県三崎魚市場に水揚げされた魚類・Ⅸ. 神奈川自然誌資料, (22): 43–50.
- 山田和彦・工藤孝浩, 2014. 神奈川県三崎魚市場に水揚げされた魚類・Ⅹ. 神奈川自然誌資料, (35): 41–44.
- 山川宇宙・瀬能 宏, 2016. 相模湾流入河川および沿岸域で記録された注目すべき魚類 16 種. 神奈川自然誌資料, (37): 44–52.
- 横田雅臣, 1991. 日本から採集されたイロイザリウオ(新称). 伊豆海洋公園通信, 2(2): 2–3.
- 横田裕介, 1996. アカハチハゼ(幼魚). 伊豆海洋公園通信, 7(12): 1.

工藤 孝浩: 神奈川県水産技術センター内水面試験場

山田 和彦: 観音崎自然博物館

瀬能 宏: 神奈川県立生命の星・地球博物館